

2022年度
自己点検・自己評価

学校法人 未来学園
前橋医療福祉専門学校



1. 学校の教育目標

未来学園は医療、福祉分野に必要な専門的知識、技術、態度を養い、実践力を身につけると共に、人間愛を基礎とし、全人的なかかわりや援助、ケアが実践できる医療、福祉従事者を養成する。教育方針に“Learning Together Thinking Together”を掲げ、教職員一同、保健、医療、福祉の発展のために学生と共に学び、共に考える教育を実践する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 学生募集活動

少子化、医療福祉系進学希望者の減少、高校新卒者の就職率の上昇などにより、年々厳しさを増しており、定員確保に向けて次の事項について重点的に募集活動を行った。

- ・学園ホームページの運用
- ・学園パンフレット等の作成
- ・進学情報サイトの活用
- ・テレビコマーシャルの放映
- ・高校ガイダンス、会場ガイダンスへの参加
- ・オープンキャンパスの開催・内容の充実
- ・高校、医療機関、福祉施設等への訪問活動
- ・AO入試の実施

(2) 教育活動

教育の質を向上させると共に学生サービスの向上のため、次の事項について重点的に教育活動を行った。

- ◇授業・実習内容の充実
 - ・人間性教育・社会性教育の実践
 - ・入学前教育プログラム・初年次教育の充実
 - ・教育目標の明確化とキャリア教育
 - ・国家試験・検定対策
- ◇学生サービスの充実
 - ・ボランティア活動への参加促進
 - ・国際交流の推進
- ◇教員研修の実施
- ◇退学防止対策
- ◇学園行事の実施
- ◇教育設備・備品の更新と拡充

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

① 課題

- ・学生や保護者等の関係者に対する教育理念、育成人材像の周知徹底
- ・学科毎に時代に応じて進歩する医療福祉業界に対応できる人材像について明確化
- ・教育内容、実習内容を充実させ、他校との差別化を明確化

② 今後の改善方策

- ・教職員一人ひとりが理念・目的を共有し、広報発信を行う。
- ・教育方針や育成人材像を明確にし、入学後の学生に対して周知を徹底させる。
- ・学生以外にも高校教員や医療福祉機関等に対し、教育理念や方針の理解を促す。
- ・就職先や実習先から必要な情報収集を行い、AI やロボット技術が進歩する将来に必要な人間性豊かな人材像を明確化する。
- ・大学や専門職大学との違いを明確にし、周知する。

③ 特記事項

特になし

(2). 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

- ・効率的な組織運営と人的資源管理の徹底
- ・医療福祉機関や地域に対する積極的な情報公開

② 今後の改善方策

- ・効率的な組織運営が行えるように、定期的な会議や打合せを行い、意識を共有する。
- ・各々の能力を適正に把握し、最大限に引き出せるよう管理職者による直接の指導、また各種研修会等による教育を行う。
- ・ホームページや SNS を活用しながら、学校の取り組みなどを具体的に発信し、広く関係者に理解を促す。

③ 特記事項

特になし。

(3). 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1
-------------------------	------------------

① 課題

- ・教員の教育力や学生指導能力に差が出ている。
- ・授業準備や学生対応に時間が割かれ、十分な研修を行えていない。
- ・入学前教育を実施しているが、初年度教育が不足し授業についていけない学生がいる。

② 今後の改善方策

- ・人工知能や医療福祉機器の進歩等の業界の動向を踏まえて教育内容に見直し、具体的にする。
- ・定期的に学内研修を実施し、他学科の教員からも教育のノウハウを得ることで、教育の質を向上させる。
- ・授業評価アンケートと授業参観の実施の継続とフィードバックを十分に行うことで、教員の教育力の向上と教育活動の充実を図る。
- ・学外への研修を積極的に支援することで、教員の資質向上を図る。
- ・入学前教育や初年度教育を見直し、専門教育に対する理解を深める機会を設ける。

③ 特記事項

新型コロナウイルス感染症対策によりオンライン授業等の対応を行った。
 今後は WITH コロナ時代を見据えた新しい社会に貢献できる人材の育成のため、教員のICT能力の向上を目指すとともに、より質の高い教育を行っていくことが必要である。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 3 ② 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

① 課題

- ・国家試験合格率が全国平均を下回る学科もある。
- ・同窓会などの組織がなく、全学的に卒業生の活躍状況を把握できていない。
- ・昨年度よりは退学者数、退学率ともに増加している。特に1年次の退学者が多い。

② 今後の改善方策

- ・国家試験対策用ソフトの活用方法を改めて学生に周知、指導を行い、国家試験対策と補講を強化し、国家試験合格率を向上させる。
- ・入学当初より学生への声掛け等の対応と学習理解度の把握に努め、生活と学業両面へのきめ細やかなサポートを充実させることで、退学者の減少を図る。
- ・卒業生の状況が把握できるよう、卒業生とのコミュニケーションを取れる仕組みを構築し、運用する。卒業生等を対象とした定期的なアンケートを実施する。

③ 特記事項

特になし。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・ 職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 課題

- ・高等教育の修学支援新制度の対象機関となっており、経済的な支援体制は整っているが、僅かながら経済的理由で学業を継続できない学生もいる。
- ・学生の学生生活等への相談、対応が不足している部分がある。

② 今後の改善方策

- ・奨学金や教育ローン制度の案内等を行い、学費支援の体制を強化する。
- ・早期から学生生活を過ごしやすくできるように学習以外も相談に応じて対応する。
- ・社会人のニーズを把握し、学びやすい環境を整備する。

③ 特記事項

高等学校とのキャリア教育連携授業を実施し、今後も規模拡大を予定している。

(6). 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・教育用設備、備品等が経年劣化してきている。

② 今後の改善方策

- ・老朽化している設備、備品について取替更新を行い、教育の質の向上を図る。
- ・PC や動画等を用いて、映像による学習を行うことで、より深く理解を促す。
- ・アクティブラーニング等の授業手法もできるよう学習環境を整える。
- ・先端の医療福祉現場を学べる臨床実習を増やし、質の向上を図る。

③ 特記事項

オンライン授業の学習効果向上を図るため、全館に Wi-Fi を整備した。

全学生、全教職員を対象とした防災訓練と防災教育を実施することで、防災に対する意識と対応力の向上を図っている。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

- ・学科間での定員充足率の格差
- ・本校の特色等が十分に伝わっていないこともある。
- ・社会人や留学生に対する募集活動が不十分である。

② 今後の改善方策

- ・高校教員に対する医療福祉系職業に対する理解を深めるよう高校訪問を強化する。
- ・ホームページや SNS を活用し、学校の情報を適宜発信して認知度を向上させる。
- ・社会人が就業後に参加できる夜のオープンキャンパスの開催や社会人向けサイトの利用等の、社会人を対象にした募集活動を更に強化する。
- ・留学生対象のガイダンスに参加し留学生への認知度を向上させる。

③ 特記事項

広告として県内のテレビ局において CM を放映し学校についての周知を行った。

(8). 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

- ・教職員におけるコスト意識はじめ財務領域への意識醸成
- ・財務情報公開の体制整備

② 今後の改善方策

- ・長期的に安定した運営を行えるよう中長期的な経営計画を策定する。
- ・教職員の意識醸成を目的としたタイムリーな情報共有

③ 特記事項

特になし。

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・自己点検・評価の内容について具体的なフィードバックが不十分である。
- ・個人情報における適切な管理指導

② 今後の改善方策

- ・自己点検内容について、全学で共通認識を持ち、課題の解決を行う組織体制を構築する。
- ・個人情報保護については、意識や理解を深めるために研修を実施する。
- ・学内のネットワークの整備やウィルス対策を万全にし、個人情報の流出を防ぐ。

③ 特記事項

特になし。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

- ・本年度も、新型コロナウイルスの影響により、ボランティア活動や社会貢献活動等は、ほぼできなかったが、WITHコロナ時代における新しいボランティア活動と参加方法について考える必要がある。
- ・介護福祉学科の教育訓練制度以外の公開講座等を行っていない。

② 今後の改善方策

- ・関係団体や地域に対し、開かれた学校としてより一層施設提供などを行っていくことで地域貢献を繋げる。
- ・ボランティア活動の意義ややりがいを理解させ、興味を持たせることで、積極的に参加する学生を増やす。
- ・公開講座を企画し、地域に根差した学校を目指す。

③ 特記事項

今年度も地域貢献として前橋市と「前橋学の普及促進に関する連携協定」を締結し、前橋学市民学芸員養成講座の特別講演を本校施設で開催した。また、ボランティア活動の一環として We are buddies の活動支援を継続して行った。

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 ③ 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④ 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・日本語学科の入学希望者は多いが、在留資格の認定申請結果が伴わず入国ができない留学生がいる。

② 今後の改善方策

- ・在留資格の交付率は国によって異なるため交付率の高い国の留学生の受入れや新規エージェントの開拓を推進する。
- ・留学生ガイダンスなどに参加し、学校の認知度を向上させる。
- ・留学生を対象とした広報媒体等を作成する。

③ 特記事項

新型コロナウイルスの影響により、在留資格は認定されても来日することが困難な状況が続いていたが、入国制限が緩和され、本校の留学生も増えることが予想される。国際交流の一環としてカンボジアにある日本語学校とのオンライン交流を行っている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今回の自己点検・評価を行い、今後の具体的な課題や改善点などが明確となった。

募集活動については、少子化に伴う医療福祉系進学者の減少、公的制度等の充実による大学進学傾向の高まりを日々感じている。

その中でも安定した募集活動を行っていく為、インスタグラム等の SNS を活用して多方面に募集活動を発信することや、以下にある教育活動、法人運営に伴って教育サービスの質を高め、学校のブランド化を向上させる必要がある。

また本校の主な募集対象である高校生ではなく、社会人や留学生に向けてのアプローチを検討していきたい。

教育活動については、大学などの教育機関では教養科目内で高校までの学習を振り返り、その上で高等教育に移行する流れができています。

本校においても入学前教育プログラムの実施、初年度教育の充実に取り組んでいるが、読み書きや計算などの基本的な学力の向上を基盤として、いかに専門教育へと繋げられるかを見直さなければならない。併せて学習の理解度や技術の習得度を個別に把握し、対応していくことも必須と考える。

また急速に進む医療福祉現場や人工知能導入に伴う労働の変化に対応できるよう、教育の質の向上を図っていきたい。具体的には、実習先や就職先との連携を深め、医療福祉の最先端の情報や技術を取り入れることで、将来を見据えた教育活動の構築が重要となるだろう。

さらに社会人や高齢者などにも学ぶ機会を提供できるように学習環境を整え、多様化する教育にも対応し得るオンライン授業の充実を図っていき、就職支援や実習の充実、国家試験対策の強化と共に教育の質を向上させていきたい。

法人運営については、安定的な財務基盤を維持しながら、時代や社会ニーズに合わせた学校づくりを 10 年先を見据えて行っていきたい。

また新型コロナウイルス感染症による学校運営への影響は少なくなったが、安全安心な学校づくりに引続き全教職員にて取り組んでいきたい。

以上